年間授業計画【新様式】

高等学校令和６年度（３学年用）教科　　地理歴史　　科目　歴史総合

教　科：　地理歴史　　科　目：　歴史総合　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　3 学年

教科担当者：平山　剛大

使用教科書：（ わたしたちの歴史　日本から世界へ　山川出版社　　）

教科　地理歴史　　の目標：

【知識及び技能】近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界とその中の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解する。

【思考力、判断力、表現力等】近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追及、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

科目　歴史総合　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
知識：近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界とその中の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解する。 技能：諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追及、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	第１部　近代化と私たち ・東アジア秩序（冊封体制）とヨーロッパ秩序（主権国家体制）のちがいを理解する。 ・産業革命による社会構造の変化を考察する。 ・欧米列強の帝国主義によるアジア市場の獲得と日本に与えた影響について考察する。 ・日本の開国による変化を理解する。 ・フランス革命の歴史的意義を理解し、ナショナリズムの特徴を理解する。	1　18世紀の世界とアジア 2　産業革命 3　アヘン戦争と日本 4　日本の開国 5　日本開国期の国際情勢 6　開国後の日本社会 7　市民革命と国民統合	【知識・技能】 ・東インド会社によるアジア進出、産業革命による工業化、市民革命についての知識を身につけている。 【思考・判断・表現】 ・国際商業の覇権の推移を比較し、考察・表現できている。基本的人権について、独立宣言やフランス人権宣言から読み取ることができている。 ・欧米の国民国家形成について、国際情勢を交えて多面的に考察・表現できている。地図・図版を活用し、アジアの動揺・衰退を考察できている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・少数民族への差別やアメリカで続いた黒人差別を、現代につづく課題としてとらえ、積極的に知ろうとしている。	○	○	○	7
	第１部　近代化と私たち ・日本の明治維新で、日本がどのように近代化したかを理解し、欧米列強の近代化と比較・考察する。 ・国際情勢を踏まえた明治政府の諸課題と対応について理解する。 ・日本の産業革命と欧米列強の産業革命を比較し、日本の産業革命が短期間で実現された要因を考察する。 ・欧米列強のアジア市場への進出が植民地の獲得へと変化した背景を理解する。 ・日露戦争が起きた要因とその結果について、理解する。	8　明治維新 9　富国強兵 10　日本の明治初期の外交 11　大日本帝国憲法の制定 12　日本の産業革命と日清戦争 13　帝国主義 14　日露戦争と韓国併合	【知識及び技能】 ・明治維新とその後の日本の変化やアジア諸国の変容について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・明治維新の歴史的な意義について，現代の日本への影響と関連付けて考察し，自分の言葉で表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・明治維新やアジア諸国の変容が，現代社会にどのような課題を与えたかについて考察し，解決策を追究しようとしている。	○	○	○	7
	定期考査			○	○		1
	第2部　国際秩序の変化や大衆化と私たち ・日露戦争後の日本の政治外交の変化について考察する。 ・第一次世界大戦が”大戦”となった背景について考察する。 ・第一次世界大戦が日本に与えた影響について考察する。	第2部　国際秩序の変化や大衆化と私たち 1　大衆運動の芽ばえ 2　第一次世界大戦 3　第一次世界大戦と日本	【知識及び技能】 ・国際関係の視点を軸に，第一次世界大戦勃発から終戦までの経緯と，参戦各国の社会の変化について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・第一次世界大戦の総力戦体制下において，列強の戦闘員・列強の非戦闘員・植民地や従属地域の人々がそれぞれどのような目的で戦争に協力したのかを考察し，自分の言葉で表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・勢力均衡に基づく国際秩序と大衆の戦争参加が，現在の社会につながるどのような課題を生み出したのかについて考察し，解決策について追究しようとしている。	○	○	○	7
	・ロシア革命が世界に与えた影響について考察する。 ・第一次世界大戦により進んだ社会運動の広がりについて理解する。 ・第一次世界大戦後の国際秩序について、国際連盟と国際連合を比較し考察する。 ・第一次世界大戦後のアジアにおける民族運動について、その結果と成果について考察する。 ・大量生産、大量消費社会の到来により生じた変化を考察する。	4　ロシア革命とその影響 5　社会運動の広がり 6　国際協調 7　アジアの民族運動 8　大量生産・大量消費社会	【知識及び技能】 ・ヴェルサイユ体制によって形成された国際秩序と，国際社会や各国に生じた政治・社会・文化の変化を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・新しい国際秩序と大衆社会の特徴について考察し，自分の言葉で表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・ヴェルサイユ体制に基づく国際秩序の成立と，２０世紀前半における大衆社会の到来が，現代社会においてどのような課題を生み出したのかを考察し，その解決策について追究しようとしている。	○	○	○	7
	定期考査			○	○		1
2学期	・世界恐慌が世界に与えた結果について、各国の事例をあげて考察する。 ・ナチ党が選挙で台頭した理由を考察する。 ・日本の軍部が主導権を握り、日中戦争が起きた要因について理解する。 ・第二次世界大戦を第一次世界大戦と比較し、その違いを考察し第二次世界大戦の特徴を理解する。 ・太平洋戦争が起きた要因と、その過程や結果について理解する。 ・第二次世界大戦がもたらした被害について理解する。	9　世界恐慌 10　独裁勢力の台頭 11　日本のアジア侵出 12　第二次世界大戦 13　第二次世界大戦と日本 14　第二次世界大戦の終結	【知識及び技能】 ・第一次大戦、第二次大戦勃発の過程とその惨禍について、核の使用を含め、理解し、知識を身につけている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・全体主義をうみだした国際社会の対立および経済の不均衡について、多角的に考察し，導き出した考えを表現できている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・国際社会において平和を構築するため、なにが必要か、どのように関わることができるのかを、自分の課題として知ろうとしている。また、資本主義社会における労働問題、大衆社会における人間のあり方・生き方を現代につづく問題としてとらえている。	○	○	○	11
	・第二次世界大戦後の国際秩序や戦後処理について、第一次世界大戦と比較し、考察する。 ・資本主義国と社会主義国の対立に構造について考察し、米ソ対立の背景について理解する。 ・GHQのもとで進められた改革により、日本がどのように変換されたか理解する。 ・サンフランシスコ平和条約で国際社会に復帰した日本に残された課題について理解する。	15　戦後国際秩序 16　冷戦のはじまり 17　日本の戦後改革と日本国憲法 18　日本の独立	【知識及び技能】 ・米ソを中心とした冷戦構造と、２つの陣営に分かれての諸地域の対立を理解し，知識を身につけている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・冷戦の対立構造の中で、緊張と緩和が繰り返されたこと、また国際連合が対立の緩和に果たした役割と課題を考察し，導き出した考えを表現できている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・日本が、戦後どのように復興していったのか、また被爆国として核軍縮に果たすべき役割について、意欲的に探究しようとしている。	○	○	○	10
3学期	第3部　グローバル化と私たち ・冷戦について、構造的に理解する。 ・アジア・アフリカ諸国の独立運動やアジア・アフリカ諸国の連帯の背景について理解する。 ・冷戦における集団安全保障体制や核軍備拡大競争について米ソのちがいを比較し考察する。	第3部　グローバル化と私たち 1　第三世界の登場 2　冷戦の固定化と「雪どけ」 3　冷戦の展開 4　55年体制と安保闘争 5　高度経済成長の光と影 6　ベトナム戦争とアメリカ 7　経済構造の変化 8　日本の経済大国化	【知識及び技能】 ・55年体制の形成から高度経済成長に至る日本の動きを，冷戦下の国際情勢を踏まえながらその中に位置づけて理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・冷戦下の日本と世界の動向について，政治・経済の関連や諸地域間の比較を通して多面的に考察し，自分の言葉で表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・冷戦期における各国の動向，現在の社会においてどのような課題を生み出したのか考察し，解決策について追究しようとしている。	○	○	○	10
	・20-21世紀の諸紛争について、資源ナショナリズムについて触れながら理解する。自然と人間の歴史について考察する。	9　アジアの経済成長 10　社会主義の停滞と新自由主義 11　冷戦の終結 12　冷戦後の地域紛争 13　地域統合 14　現代世界の諸課題 15　日本の諸課題	【知識及び技能】 冷戦との諸地域の紛争について、知識を身につけている。自然と人間の関わりについて、日本の災害の歴史を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 冷戦の終結によって米ソ２大国の影響力が薄らぐ中、新興国が台頭するも、経済面・政治面で問題を抱えていることについて考察し、導き出した考えを表現できている。 【学びに向かう力、人間性等】 自国中心的な政策と国際協調を優先させた政策について、利点と欠点を念頭に、現代社会の問題を意欲的に探究しようとしている。自然との関わりを考察し、どのように自然と関わり環境を護っていくかについて自分の問題としてとらえている。	○	○	○	9
	定期考査			○	○		1
							合計 70